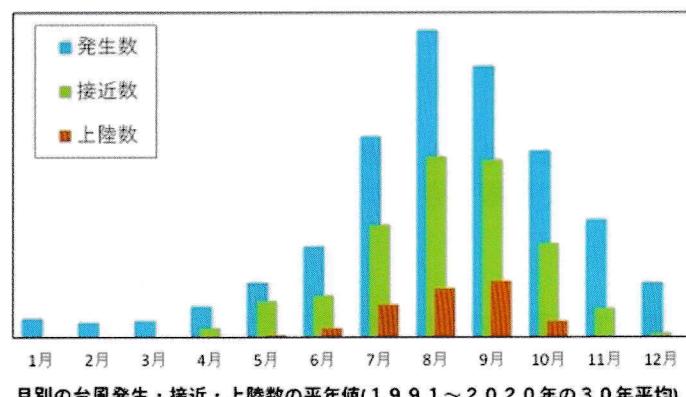


～防災知っ手帖～

7月、8月、9月は台風のシーズンです

台風2号に刺激されて6月2日は関東でも大雨・強風となり、不安な状況となりました。台風は、30年間（1991～2020年）の平均では、年間で約25個が発生し、約12個の台風が日本から300km以内に接近し、約3個が日本に上陸しています。発生・接近・上陸とともに、7月から9月にかけて最も多くなります。



この防災知っ手帖をみたらすぐ、必要な事前の対策に取り掛かって下さい。

- ・ハザードマップをチェックし警戒レベル再確認
- ・備蓄や防災グッズの再点検
- ・スマホ充電対策
- ・情報収集環境確認

防災気象情報と警戒レベルとの対応について

昭島市長から警戒レベル4【避難指示】や警戒レベル3【高齢者等避難】が発令された際には速やかに避難行動をとって下さい。しかし、発令の基準値に達した時刻が夜間だったり、日中でも暴風雨の状況などで避難が困難な場合が考えられます。そんな状況下で無理な避難行動をするのはかえって危険です。それを避けるには、自治体が発令する避難指示等よりも先に発表される防災気象情報にも注意して下さい。そして、警戒レベル4や警戒レベル3に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくてもキキクル（危険度分布）や河川の水位情報等を用いて**自ら避難の判断をすることが大切です。**

昭島市の発令		警戒レベル3	警戒レベル4
住民への要請		高齢者等避難（注）	避難指示（注）
気象庁の情報	大雨	大雨警報 洪水警報	土砂災害 警戒情報
	キキクル	警戒	危険
	氾濫情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報

（注）2021年5月20日より、警戒レベルの文言が分かりやすく修正されました。

発行：郷地東町連合自治会 会長 志村和亮
防災部 鈴木祥平 藤谷幸子 紅林幸一

避難所に行くことだけが避難ではありません

「避難」とは「難」を「避」ること
以下の4つの行動があります

（1）行政が指定した避難場所への避難

自ら携行するもの

マスク

消毒液

体温計

スリッパ 等



（2）安全な親戚・知人宅への避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

ハザードマップで安全かどうかを確認しておきましょう。

（3）安全なホテル・旅館への避難

通常の宿泊料金が必要です。

事前に予約しましょう。

（4）屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し、自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

「3つの条件」

- ① 家屋倒壊等氾濫区域に入っていない
- ② 浸水深より居室は高い
- ③ 水が引くまで我慢でき、水・食料などの備えが十分

【お知らせ】

今年度（2023年度）の防災セミナーについて

昨年度は自治会ごとにDVD視聴会を実施していました結果、多くの方々に防災セミナーを受講していただきました。またwebサイトで各自都合の良い時間に視聴できるようになりました。

今年も昨年同様のやり方で実施します。

防災セミナー 今年も開催

テーマ：避難所生活のヒント

発災後の避難所での生活をイメージし、避難について考えます（避難所における「トイレ」「プライバシー」「要配慮者視点」「ペット対策」などの課題、分散避難など）。

実施時期：2023年11月

受講形式：二つの形式を予定しています。

- ①webサイトで各自都合の良い時間に視聴
- ②各自治会ごとに集合してDVDを視聴